

2018 年度上期決算 会社説明会:主な質疑応答

Q: 18 年度上期の業務純益が前年同期比で大幅に改善している理由を教えてください

A: 昨年度第 1 四半期の業績が厳しかった事の反動による増加も理由の 1 つだが、ベースとしての収益力が昨年度下期以降、着実に伸長しており、経営・役職員が危機感を持って、様々な取り組みを現場で行ってきた効果が出ていると感じている。経費についても、臨時処理分を除くベースで、前年同期比で増加しているが、BK・TB の 2 行合算では減少し、かつ連結でも予算を下回る水準で抑制できており、緊張感を持って運営している。

Q: 今後の政策保有株式の削減方針を教えてください

A: 政策保有株式の取得原価ベースの売却金額は 18 年 9 月末時点で累計 4,616 億円。19 年 3 月末までの削減目標である 5,500 億円に対し、残り 883 億円と着実にゴールに近づいており、まずはこの目標を確りやり切りたい。

今後についてはこれから詳細を詰めていくが、コーポレート・ガバナンスコードや CET1 に対する政策保有株式の割合等を考えると、引き続き削減を行う必要があると考えている。

Q: 資本水準を踏まえたインオーガニック戦略の考え方について教えてください

A: バーゼル 3 最終化を反映した CET1 比率は、その他有価証券評価差額金を除くベースで 8% 台前半と、規制で求められる水準はクリアしているものの、競合他社との比較からは必ずしも十分ではないと考えている。今後、当社のリスクプロファイルを多面的に検証し資本の十分性の考え方をまとめていきたい。

その上で、一定の資本水準に達した場合、資本活用のオプションの一つとしてインオーガニックも検討していきたい。事業環境の変化の中で、成長領域と位置づける分野で収益基盤の構築が可能なものを優先して、スピード感を持って対応していきたい。

以 上